



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

/

私は、この特別授業を受講して今、現代に生きていることに感謝しなければならなかったと思います。現代は新しい憲法「日本国憲法」が作られ戦争放棄していますが、戦争によりたくさんの命がうばわれて苦しめたことをこれからも永遠に伝えていきたいです。かつて日本では戦争に反対すると差別をうけていました。私は、意見としては、いけないと思いますし、アメリカが日本に戦争をしないという意見を受け入れないからといって原爆は、落とすてはいけないと思います。国民の中では口にはたさながら戦争はしたくないしてはいけないと思ってる人もいます。そんな人たちまで関係ないのにもかかわらず命をうばうことは絶対に許してはいけません。たしかに、アメリカ側から見ると真珠湾攻撃をされたら腹が立つと思います。やがえしたくなると思います。でも、戦争はどちらかがやめなければおわりません。だから、やがえさないで、おたがいの攻撃しなければこんなことにはなりません。先生の話をたぶん文化がちがたりして、それは小さな事で人はみな同じ仲間（あるということ）が分かれば、世界中の人々が仲良くなり争い事がなくなるという事が分かります。それは、人々がよくしめ合い傷つけ合う戦争は起きる事がなくなり、それが世界平和につながると分かりました。先生、平和について教えてくださいありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今日たくさんの画像や映像を見てまわると、悲しい気持ちになりました。まず、いきなり、そしていっしょんの出来事で、広島の人口の約40%が亡くなってしまったという事実には、おどろきました。広島に原子爆弾が落とされたことは知っていましたが、まさかそんなにたくさんの人が亡くなっていくとは知りませんでした。さらに、今でも、原爆症で亡くなっている人がいると聞いて、原爆のこわさを改めて知りました。

今の戦争のない平和な日本からは想像できる。ほど、ゾクゾクとする言葉がでてきたので、自分が平和な時代に生まれてきて本当に良かったと、何回も思いました。

最初、「7000℃」と聞いた時は、どのくらいの高さなのか分かりませんでした。しかし、太陽の表面温度が「6000℃」を知り、太陽の画像を見て、心臓の動きがほげしくなるのを感じました。

原爆先生の授業を受けて、原爆のことがよく分かりました。なので、これからは、平和な時代が続くために、自分ほかにできることを考え、努力していきたいと思えます。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

5/

前までは原爆についてあまり分からなかったけどビデオを見たり音をきいてあらためて原爆は怖いと思っただし原爆について詳しく説明してくれてよく分かりました。私達は経験したことないので 3000°C ~100万 t のあつさなんてきいても想像できませんが先生がどんだけあつたか言葉で表現していて少しだけですがあつさが分かりました。資料を使ってX光をとりながら話をきいて先生の話と資料をあわせたらすごく分かりやすくいるんことを知ることができました。この特別授業を通していままで分からなかったことなどについても本などでさらに学びたいと思います。やっぱり原爆は怖くてあってはならないものだし、今も原爆の病気で困っている人がいることをこれからも忘れないようにしようと思います。最後になんで原爆をおとした外国の人はこんな日本で落とす場所をしっかりと決めて原爆の強さをためたかったのかなと思います。原爆先生の特別授業はとてもよく分かりたくさん知ることができました。約90分以上の時間大切な話をしてくれてありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

5/18

私は先生のお話を聞いて、爆弾はこれだと、改めて分かりました。7000℃という熱さは、どれほど熱くなっているかも、先生の話聞いて分かりました。原子爆弾は、爆発に巻き込まれたら、一瞬のうちに死にいたるほどにすごい爆発なのだとはじめて知りました。先生が話をはじめる前に7000℃の少年という物を紹介してくださいました。その意味を今話さずに「話を聞いていけば分かります」と言っていました。話を聞いていけばその答えが分かると思い、夢中になって聞いていました。その答えが爆発した時、7000℃にな、たリトルボーイではないかと私は考えました。映像を見た時私はとてもびっくりしました。人のふきとははされ方、くたけち、た物さらに音...こんな物がとフせんやってきたらもうどうにもできせん。そのまま死になると考えると泣きそうになるくらいこわかったです。今後このようなことが起きないためにも、いろんな国の人と仲良くしようと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

原爆先生の授業を受講して改めて原爆のおそろしさを学びました。

原爆先生は、原爆のしくみ被爆者はどのような姿だったのか、その時に爆心地へ向かった兵隊の気持ちや原爆が落された場所の様子などを教えてもらい、私は原爆という言葉がこわくなり、こんな事がもう二度とおきてはならないということを思いました。

そして、原爆が広島^の相生橋を目標にした理由が形からという事と条件がそろったという理由が私は本当に言へないという事しか教えてもらった時に頭にくらびませんでした。

ですが、これからは日本だけではなく、他の国も、法律などで、戦争や争いを、やらなくしてほしいと私は思っています。

自分たちが、大人になる時には、平和な世の中になっている、もしくは平和な世の中にしているように、原爆先生から学んだことをこれからも頭に入れて、平和な未来にしていかなければ、ならないという事が、分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私のおじいちゃんは今はいません。戦争のときに東京に住んでいました。ですが「東京はあつたから」といわれ、当時はおじいちゃんもろいからたので、親から離れて田舎で暮らしていたそうです。そして、東京に爆弾が落とされて、おじいちゃんは、「もう、自分が東京に帰る時には、親がいなくなってしまう」と思ったそうです。おじいちゃんたちが東京に帰ったら、「はい」と思っていた親が生きていたからびっくりした。と言っていた。とお母さんから聞いて、戦争ってこわいな。と私は思っていました。今日先生のお話をきいて、原爆は、空襲と比にならないくらいの勢いがあった」ということがわかりました。そして、ものすごくこわいものだと、思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて、ぼくはこういう風に思いました。38万人の被害者について、その中の三分の一が死んでしまっているぼくはそれを知って、こう思いました。「悲しい出来ごと、なんだらう」と思いました。「放射線」、「熱線」、「衝撃波」というきびしい9日間だたと思います。今でも、被爆者は苦しんでいる人が多いと思います。私の知り合いの40才の人がいるんですがその人のいおばあちゃんが被爆者なんです。今でも苦しんでいるみたいで。その人に話を聞いた話の最後に、こう言いました。「悲劇だた、て、言っていました。夢か分からなかつた、て言っていました。その人は、前にいた身長が高い男の人が盾となり、あつちそんなに被害は、受けなかつた、て言っていました。でも、すこい苦しなつた、て言っていました。その人も原爆先生も言っていたことであつた、みんな必死に助けを求めていた、て言っていました。今では、牛物言えなない物だ、たと思ひました。「原爆」という牛物は、人々をただ苦しませるだけだと思ひます。原爆は、本当に、ただ人を苦しませているだけであつた、今後こんな悲劇りは、合、てはかならなると思ひます。原爆先生の話で、原爆の「悲劇」が分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆先生の授業を受けて原子爆弾はものすごい
力を持っていると分かりました。最初は、建物がたく
さんこわれて、大変だったんだろうなと思っていました。
でも、授業を受けたら、どのようにして投下され、
どのくらいの被害があったのかをしっかりと知ること
ができました。まず、私がおどろいたのは投下する
候補になった都市の中に京都があったことです。京
都に行ったことがあるけれど今考えるともし落ちて
いたらどうなっていたんだろうと思いました。けれど、
京都は重要文化財がたくさんあるから除外された
と知ってアメリカはそういうことを考えていたんだ、
と不思議に思いました。私が2つ目におどろいたの
は投下するまでのしくみです。重カで落ちていくと
知ってすごい訃報だと思いました。そして、義三さんが
どれだけ怖い思いをして、被爆者が焼却されるのを
悲しんだか聞いてこういうことは二度とあってはなら
ないんだと思いました。私は、授業でたくさんのご
とを知れたので、興味をもってもっとたくさんのご
とを知りたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私が今回原爆先生の話を聞いて思ったことは戦争は自分が思っていた100倍おそろしいものだということです。前から戦争はこわいものだという事は知っていましたが、ドーン！ドーン！という大きな音と共に多くの方が亡くなってしまっておそろしさと、被爆者の悲鳴に私は聞いていて胸をしめ付けられる思いでした。そして、原爆資料館の女の人のもけいを見ていた時、原爆先生のお父さんが「きれいすぎる」と言っていたのを聞いて、本当はもっと残酷で見ていられないくらいだったのだと思い、悲痛な思いでした。あと、人間は炭素で出来ていると言っていたことについて、爆破を受けた人は、一瞬にして粉々になってしまうと聞いて、原爆のおそろしさを改めて感じました。人が次々に消えてしまう恐怖は、一生消えないと思います。今回の授業で戦争のこわさを知るいい機会だったと思います。講義ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、この原爆先生の話を聞いて、あらためて原爆のおそろしさを知りました。一度は何十万人の人が死ぬのが、どれだけおそろしい事なのか身にしみておかりました。でも、私は、なんて原爆をおとすのか、人を死なすのか、理解ができません。「絶望をあたえるおそろしい物なのにな」と私は特別授業で思いました。

広島の方は、とてもおそろしいだろうな...話を聞いていると、心がキーンとやりました。原爆のおかげで、14万人が死ぬ、とても痛々しいです。

「原爆のおかげは、川の水をほぼ無くなる、町の音もなくなり、人が人の音では無くなる。本当にこおくて、残こくなる物なんだ」と、親に言われました。

それは、本当におそろしい事なのに、池田さんは、それに立ち向かう事に、私はそんげんをします。

この授業を受け、色々な事を学ばました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、正直『原爆』についてあまり知らなかったです。でも、今回の特別授業を受講して、色々な事を知れて、とても良い機会になったと思います。そして、授業の中で、たくさんの発見やおどろいた事がありました。中でも、特に2つの事がおどろきました。1つ目は、池田先生(原爆先生)のお父さんが、原爆が落とされた当時、兵隊だったという事です。この事を知る前までは、池田先生は何かのボランティアでこの仕事をしているのだと思っていたけれど、池田さんのお父さんが兵隊だったと知った今は、「池田先生は、池田先生のお父さんの体験をもとに、色々な場所へ行き、たくさんの人に原爆の恐ろしさや、命の大切さを広めているんだ!」と思い、感動しました。2つ目は、原爆の熱さです。池田先生は、太陽の熱さは約6000℃と言っていました。原爆は、地面に落ちた時はすでに太陽の半分の熱さの3000℃、そして落ちる前の原爆の外側は7000℃、そして中心は、太陽の熱さの約167倍の100万℃と知り、とてもおどろきました。太陽が落下する以上の威力の原爆のおそろしさを改めて感じました。今回の特別授業を受講して、原爆の事や、命の大切さを改めて知れる良い機会になったと思います。これからも、生きていくうえで一番大切な命を大事にしつと改めて思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆の事は「おそろしい」とは知っていたけど、
くわしい事は全然知らなくて今回の授業で
改めて、原爆のおそろしさを知れたし、くわしい事も
たくさん知れました。そして、実体験した人の
原爆のお話(本)の1部分も聞かせて頂き
とてもきょうな時間でした。

先生は、とても力強く、いいに分かりやすく
原爆の事をお話してくれて、私も
資料に目を向けて一生けん命メモをとる事が
出来ました。今回の授業では、写真や
えいぞうもあって少しこわかったです。
でも、日本で本当にあった事だし、絶対に
忘れてはならないと思いました。

これからも、原爆の事を心において
くらしていこうと思いました。

先生、今回特別授業をやってくれて
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、この原爆の話しをきいて、改めて、原子爆弾は、こわいものだと深く思いました。

たった一回の投下で死者が約14万人も出てしまったことを知ってとても残念に思います。また、原爆は、太陽よりもあついことを知りおそろしいと感じました。

被爆者の人たちは、原爆がおこる前までは、幸せだっただろうけれど一瞬で全部が消えさってしまったことを考えると無念です。また、このようなことが立て続けに起きて、被爆者の人たちの不安やおそろしさも大きくなっていったことでしょう。

だから二度と戦争がおこらないように日々の生活や外国との交流を見直し、この出来事を分すれられないように私たちが未来へ伝えていきます。来てくださってありがとうございました。